

「百済寺」について調べるには

飛鳥時代、聖徳太子の発願で百済国の寺院を模して建立されたことから「くだらじ」とも呼ばれていた寺院で、湖東三山中、最古の寺です。国の重要文化財に指定されている本堂や聖徳太子の自作とされる本尊十一面観音立像などに古寺の風格が見て取れます。（『まると東近江市百科』より）



図書館の資料で調べる

◆『愛東の歴史 第1巻～第3巻』

東近江市史愛東の歴史編集委員会／編、2008年

第1巻では百済寺に関する資料を収録、建築と美術品についても解説しています。第2巻では歴史と人々の暮らしについて、第3巻では百済寺の明治以降の歴史と祭礼について記載されています。『近江愛智郡誌』の内容を補完し、さらに新たな調査研究によって書かれた愛東町の歴史書です。

◆『愛東町合併三十周年記念 ふるさと読本 山と川の歴史』

愛東町ふるさと読本編纂委員会／編、1986年

百済寺の歴史を、愛東町の歴史と共に時代順に説明しています。寺内の文化財についての記載もあります。

◆『百済寺文書調査報告』

東近江市教育委員会／編、2010年

百済寺に関する目録をはじめ、史料、調査概要、寺院組織や村々の構造について記されています。

◆『百済寺一城塞記一』

川上 敏雄／著、1987年

百済寺について、特に戦国時代において戦力をもち城塞化されたことについて記載しています。著者はこの他、百済寺に関する本を書かれています。

◆『百済寺物語』

川上 敏雄／著、1999年

百済寺の創建から、明治初期に至るまでの歴史を詳細に説明しています。

◆『湖東三山』 P12～P27

小林 公成／編、世界文化社、2000年

百済寺に伝わる金銅弥勒菩薩半跏思惟像などの文化財や寺の景観をカラー写真で紹介しています。

百済寺を題材にした小説

◆『小説おなを―織田信長の百済寺焼き討ちの後先―』

栗田 真一／著、2006年

百済寺の焼討ちを題材にした小説です。作者は市内在住の方です。